

(別添資料1)

事業所名

児童発達支援・放課後デイサービス    こどものやかたpark

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

2025

年

2

月

1

日

法人（事業所）理念		障害福祉事業に携わる法人として、優秀な支援者を排出し続け、将来の障害児支援環境を支え続けられる社会資源となる。																					
支援方針		・児童が日常生活における基本的動作及び知識技能を身に着け、集団生活に適応することができるよう、その児童の身体や精神の状況、置かれている環境に応じて、適切で効果的な支援を行います。 ・事業の実施に当たっては、児童や利用者の希望を尊重した事業の提供ができるよう努めます。 ・事業の実施に当たっては、地域や家庭との結びつきを重視した運営を行い、関係市町村等と連携を図り、総合的なサービスの提供に努めます。																					
営業時間		9		時		0		分から		11		時		30		分まで		送迎実施の有無		あり		なし	
		支 援 内 容																					
本人支援	健康・生活	情緒の安定を図る    【活動内容：リトミック・運動遊び・感覚刺激遊び等】 基本的な生活スキルの獲得    【活動内容：食事、排泄、衣服の着脱等の自立につながる個別の支援】																					
	運動・感覚	粗大運動を通して感覚の調整を図る【活動内容：感覚刺激遊び・サーキット・マット遊び・シーツ遊び・屋外での遊び等】 微細運動を通して目と手の協応動作や、手先の操作性を高める。集中力を養う。達成感や成功体験を通して自信を育てる。 【活動内容：シール貼り・洗濯ばさみ遊び・ひも通し・ビーズ遊び・ストロー遊び・パズル・粘土遊び・色水遊び・塗り絵やお絵描き・線結び等】																					
	認知・行動	基本的概念の形成。見分ける活動を通して物の照合や弁別力を養う（形・色・構成）。 聞く・見る活動を通して（傾聴姿勢、見る、聞く、待つ力を養い理解につなげる等）記憶活動（イメージして、覚えて、考えて行動する力）を養う。 簡単な見立て活動を通してイメージを膨らませ、創造性を養う。 【活動内容：ものや色の照合遊び・数字遊び・集団ゲーム・カード遊び・パズル・粘土・制作等】																					
	言語 コミュニケーション	人とのやり取りの中で、わかる言葉を育てる。 自己表現手段を増やし、広げる。 模倣や見立て遊びを広げる・ 【活動内容：自己紹介・言葉遊び・音楽遊び・SST・ごっこ遊び・ボール遊び等】																					
	人間関係 社会性	人との関係（親子・大人・友だち）への興味や関心を育て、上手なかかわり方を身に着ける。 自我の育ちを自立を促す。簡単なルールを理解して遊ぶ（ものの扱い方や指示、順番を守る等）。 【活動内容：呼名・ふれあい遊び・リズム遊び・じゃんけん遊び・集団ゲーム遊び等】																					
家族支援		・保護者が子どもの特性を理解し、適切な関わり方ができるように支援する。 ・子育ての不安や悩みを早期に解消し、保護者の精神安定を図る。 ・保護者同士の交流を深め、楽しく子育てできる環境を作る。 ・家族に対する相談援助を行う。										移行支援		・地域の保育や教育を受けられるように、移行先と支援内容や子どもの状態、保護者の移行についての伝達を行う。 ・進路や移行先の選択についての相談援助を行う。									
地域支援・地域連携		・子どもや家庭に係る関係機関との情報連携や調整、支援方法や環境調整に関する会議に出席する。										職員の質の向上		・毎月職員研修を実施する。また、視覚の取得や専門的な研修会へ参加する等、自己研鑽を図り、支援者の質の向上に努める。									
主な行事等		年間行事 夏祭り・芋うえ、芋ほり・JR電車体験・ハロウィンパーティー・クリスマス会・避難訓練（年2回以上）・進級式    等																					